

ニュースポーツルール集
ペタンク

場 所	人 数
屋 外	3人対3人

◇ ペタンクをする前に

木製の小さなビュット（目標球）に、金属製のボールを投げ合い、より近づけることによって得点を競うゲームです。ルールは単純ですが、ゲームの読みには経験を必要とします。実力的に開きがあっても、作戦ミスやゲームの流れで思わぬ不覚を取ることもあります。また地面のコンディションやゲームの展開などにより、投球方法を変える必要があります。技術的な奥行きもあります。



用 具

- ・ボール…金属製（鋼鉄やステンレス）直径7.05cm～8cm、重さ650g～800g
- ・ビュット…目標球のことをいう。木製、直径25mm～35mm、重さの規定はない。
- ・メジャー…2m程度のものがよい。

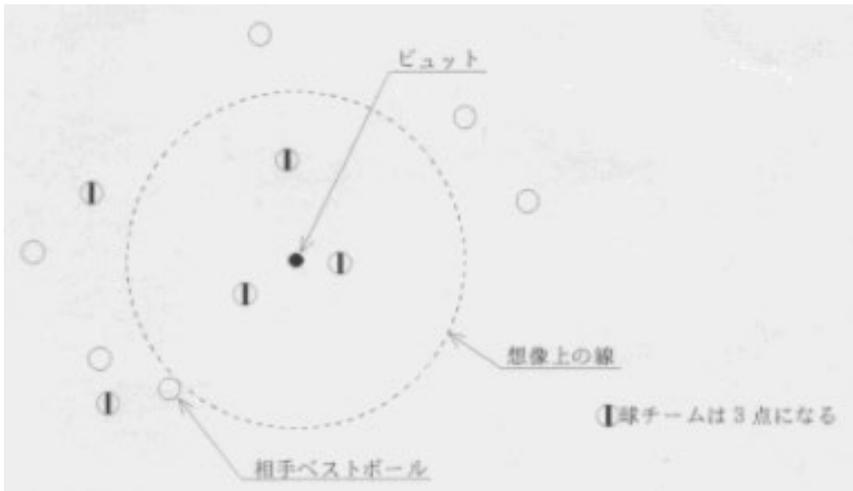
場所・コート

- ・幅4m×長さ15m以上であればよい。投球サークルは、直径35cm～50cm

ゲームの進め方

- (1) チーム編成
 - ・3人対3人（トリプルス）で行い、各プレイヤーの持ちボールは2個とする。2人対2人（ダブルス）、1人対1人（シングルス）で行うこともできる。
- (2) ビュットを投げる
 - ・じゃんけんなどでビュットを投げる権利を決める。権利を得たチームが投球サークルより6m～10mの範囲内にビュットを投げる。（範囲内にビュットが止まらないときは、3回まで投げ直すことができる。）
- (3) 第1投目
 - ・初めにビュットを投げる権利を得たチームが、ボールをできるだけビュットの近くに止まるように投げる。
- (4) 第2投目
 - ・次に、もう一方のチームが同様に投げる。
- (5) 第3投目以降
 - ・両チームの一番近いボールを比べて、負けている（ビュットから遠い）チームが、相手のボールより近づくまで投げる。
 - ・ボールが相手チームより近づいた時に、投げるチームが変わる。
 - ・仮に、一方のチームが投げ終わり、もう一方のチームにボールが残っている場合は、そのボールも得点をさらに稼ぐために投げる。
- (6) セット終了
 - ・両チームとも、ボールを全部投げ終わった時点でセット（メーヌ）が終了し得点を数える。
- (7) 得点の数え方
 - ・得点は、両チームのビュットから最も近いボール（ベストボール）の確認から始める。相手チームのベストボールより味方のチームのボールがいくつ近いか、その数が得点になる。得点はいつも片方にしかなく、一方はゼロとなる。

<得点計算> (例)



ルール

- (1) ボールを投げるときは、サークルの線を踏んだり、ボールが地上に落ちる前に足を上げたりしてはいけない。
- (2) ボールを投げる順番は自由である。(連続して投げてよい。)

ちょっとひとこと

◎ボールの握り方は、手の甲を上にし、指をボールにそわせて軽く曲げて握る方法が一般的です。また、ボールの投げ方には下図のような4つの投げ方があり、状況により使い分けるとよいでしょう。

